

## トピックス 『ERCP (endoscopic retrograde cholangiopancreatography)』

新年、あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。岡病院で消化器外科・内科を担当しております小島和人と申します。

さて、昨年末より当院では新しい内視鏡検査となる「ERCP (いー・あーる・しー・びー)」が施行可能となりました。新春の挨拶に代えまして、この「ERCP」について説明させていただきたいと思っております。

### ● ERCP とは

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP :endoscopic retrograde cholangiopancreatography)とは、特殊な内視鏡を口から挿入して十二指腸まで進め、胆管・膵管の出口である十二指腸乳頭からカテーテル(細いチューブ)を挿入して造影剤を注入することで胆管や膵管の結石(胆管結石、膵石)や悪性腫瘍(癌)などの疾患に対して検査を行うものです。最近では検査と同時に結石を除去したり、ステントを挿入する治療も含めてERCPと呼んでいます。



© 2018 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

### ● ERCP が必要な症状とは

胆管や膵管に、何らかの原因で閉塞が起きると、腹痛や背部痛、発熱をきたすことがあります。胆道が閉塞することで十二指腸に流れるはずだった胆汁が流れられなくなり「黄疸(おうだん)」といって、目や身体が黄色く変化することや、尿の色が濃くなるといった症状が出る場合があります。

### ● ERCP の流れ

透視検査室(随時レントゲン撮影ができる検査室)で検査台の上に横になっていただき、静脈麻酔で眠っていただきます。意識がなくなったことを確認してから口から特殊な内視鏡を挿入して検査(治療)を行います。所要時間は検査や治療によって様々ですが20分前後から1時間~2時間程度かかる場合もあります。検査(治療)後はストレッチャーで病棟に戻り採血や症状から経過を判断し、問題なければ検査翌日の昼より食事を開始します。

この検査(治療)は非常に侵襲度の高いものになります。考えられる偶発症(合併症)として急性膵炎や出血、消化管に穴があく消化管穿孔をきたす場合も極稀にですが起こりえる検査(治療)となります。その偶発症が確認された際は速やかに治療に移行し、場合によっては高次医療機関と連携をとって治療を行います。

### ● 最後に

今回取り上げた「ERCP」は、その原因となる疾患に対し、腹部エコーやMRI(MRCP)など色々な検査を行いながら最終的に「ERCPが必要」と判断された場合に初めて行う検査(治療)となります。患者様方におかれましては、気になることがございましたら、外来スタッフ等にお気軽にお尋ねいただければと存じます。また、地域の先生方におかれましても気になる症状の患者様などいらっしゃれば、お気軽にご連絡ください。早急に対応させていただきたいと思っております。

当院は本庄市を中心とした周辺地域にお住まいの皆様へ、より良い医療を提供できるよう日々努力してまいります。これからも何卒宜しくお願い申し上げます。



JF-260V(十二指腸スコープ)

### 理 念

地域医療に貢献する。

### 基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

### 権 利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。

- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

### 責 務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴(現況も含む)・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

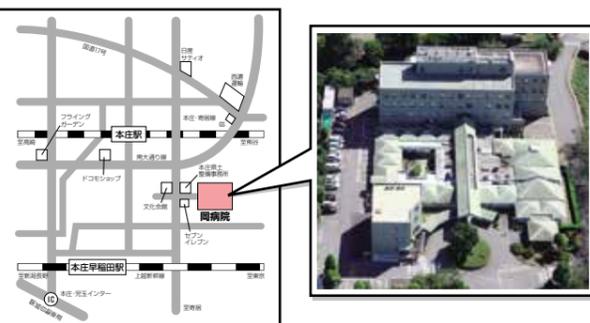
### 個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

### 医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等ございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。

- 1 階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人 桂水会 岡病院

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL http://www.oka-hospital.jp



総務課 小峯 撮影

## 謹賀新年

医療法人桂水会 岡病院

理事長 岡 治 道

新年明けましておめでとうございます。

昨年は気候変動のためか、数多くの災害が発生致しました。また、世界情勢も混迷を極める激動の1年でしたが、本年は昨年以上に様々な問題が加速度的に進むことが考えられます。世の流れに対応するためにも、病院としてのたゆみない変革が必要とされます。

岡病院は、急性期一般病床52床、地域包括ケア病床24床、療養病床33床と多岐に渡る患者様に対応できるよう整備致しました。1年間の運用の結果、だいぶ体制が整ってまいりましたので、これからさらに患者様にご満足頂ける入院医療の提供ができると考えております。

昨年同様本年も更なるご支援ご協力を頂けるようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のごあいさつ

## 謹賀新年

院長代理 今井 嘉門

明けましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられたことと存じます。毎年年末から年始に、最近の医療情勢を振り返ります。最近肺炎で死亡される方が増加した様に感じ、平成28年の人口動態統計を見ますと、肺炎が死亡原因の第4位から3位に代わっていました。肺炎が増加した理由として、寝たきりになる方が多く、誤嚥を契機に肺炎になり、死亡される事が多いと分析されました。寝たきりにならない事は重要ですが、さらに誤嚥しないことも必要です。寝たきりになる原因は、認知症、脳血管疾患、高齢による衰弱と言われており、これらを減少させることは容易ではありません。他方、誤嚥の予防策には、舌の運動、首の運動、歌、口腔内の清潔などがあります。すなわち普段から声を出して、舌、首の運動をすることで、これらは誤嚥予防策として簡単に出来る事柄です。これらを遂行して、健康な日々を送りましょう。

## 謹賀新年

副院長 大久保 誠 司

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。本年も皆様にとりまして健やかで素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。当院も病棟再編から1年、新外来透析棟稼働から2年が経過し今まで以上に地域に根ざした医療の提供を行ってまいりました。特に当院は血液透析設備を備えた慢性腎臓病治療を専門としておりますが、近年、患者様の高齢化に伴う日常生活動作（ADL）の低下や合併症併発など多角的な治療、療養を必要とする患者様の増加に対し、新設した「地域包括ケア病棟」「医療型療養病棟」により今まで以上のケアが可能となりました。また、埼玉県では災害時透析医療ネットワークを構築し7ブロックにより構成されています。当院は行田、熊谷、深谷、本庄、寄居地区で構成する第5ブロックに当たりブロック長として日頃より無線伝達訓練等を積極的に行っております。最後に本年も地域の皆様が当院をご利用頂き健やかな日々が送れますよう祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

事務長 岡崎 洋介

新年あけましておめでとうございます。今年10月1日より消費税が8%から10%に上がるという事で話題になっていると思います。同時に軽減税率制度も始まり、一部の品目は8%のままという事で経理を担当する立場としては勉強せざるを得ない状況なので日々学習している最中でございます。そんな中どうしても考えてしまうのが、病院の治療費も内税ではなく外税にならないか、という事でしょうか。病院も企業なので最低限の利益がないと、スタッフも雇えないし医療機器も満足に買えないという状況に陥ってしまいます。頻繁にある事ではないですが、例えば1億円の医療機器を買うと消費税が2%上がるだけで200万円も出費が増えます。細かいもので言えばガーゼや注射の針、血液検査をする際の容器などの様々な物品が値上がりします。個人病院である岡病院でさえその額は相当なものなので、大学病院等ではかなりの痛手になると思います。この増税分は全て病院で負担しつつも患者様から頂く治療費はそのままなので当然利益が削られてしまいます。患者様目線で考えたらその方がありがたいのですが、経営上は全くありがたいというジレンマを抱えている状態です。初めて3%の消費税が導入されたのは1989年ですが、気が付いたらもう30年近く前になっています。当初はこれが10%まで上がると思ってもいなかったので（もしかしら視野に入れていたかもしれませんが）、増税のタイミングと一緒に治療費の外税について再考して欲しいと思う気持ちはあります。年始からお金の話になってしまいましたが、そのような状況の中で我々岡病院の職員一同は皆様によりよく利用して頂ける施設として日々精進してまいりますので、どうぞ本年も宜しくお祈り致します。

## 新年の挨拶

副院長 尾崎 俊造

新年明けましておめでとうございます。短いようで平成になってはや31年目になりました。本年は元号が平成の最後の正月となります。今年にはさらに干支は亥年で、猪突猛進の速さで平成が過ぎ去っていくようです。ところで新元号は何になるのでしょうか？手元にある2019年の年齢早見表を見ると、大正8年生まれの方が今年で100才になられるようです。また昭和元年生まれの方は93才になられる予定です。われわれ昭和生まれからすると、何か二世世代過去の生まれと指摘されるような気がして、いっそ西暦に統一したほうが、世代間の隔たりがなくなり、さらにわかりやすいような気がします。私だけの考えでしょうか？年齢と人口に関する事柄では、主な働き手となる、15才から64才までの世代の方々の人数を生産年齢人口と呼びますが、わが国では1995年がピークで、年々減少傾向となっており、昨年の統計では全人口の59.77%となっています。つまり働かない人口が約半分近く存在することになり、さらに今後も生産年齢人口は減少が続いていくと予想されています。人口の多い、団塊の世代がすでに高齢者になっており、日本の高齢化社会に歯止めがかかりません。わが国の将来に一抹の不安を感じます。この高齢化社会に対して、杏林大学の石川恭三先生が書かれている高齢者の健康法についての記載から引用させていただきますと、毎日高齢者に行っていただきたい健康法が5項目あげられています。まず第一には「一読」です。一日に一度は新聞でも雑誌でも本でも、好きなものを選んで、まとまった文章を読むことで、認知機能がアップします。第二には「十笑」です。笑う頻度が少ない人ほど認知機能が低下することが多く、また笑うことで免疫機能が向上すると言われています。1日に10回くらいは笑いましょう。第三は「百吸」です。1日には百回くらい（一度には十回くらい）深呼吸をしよう。深呼吸をすることで、肺の機能が高まり、自律神経が安定し、ストレス解消に役立ちます。第四は「千字」です。文字を書くことは認知機能を高めます。日記をつける、手紙を書く、メモをとるなどを積極的に行うことです。そしてできるだけ漢字を使って書くことをお勧めします。第五は「万歩」です。歩くことでメタボリック症候群の予防・治療に効果があり、記憶力を高め、認知症の予防に有効であることは周知されています。一日の時間の流れの中で、上にあげた事柄を口の中で唱えてみて、やり残しがないかを考え、あればそれを片付けるようにしてみたいかがでしょうか？まだ本年も始まったばかりです。今年も皆様にとって素晴らしい年であることをお祈りいたします。

## 新年のご挨拶

看護部長 徳世 良重

新年明けまして、おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、2018年岡病院は地域医療貢献する病院として、3つの機能を持つ病棟、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟の109床の病院となり、新たなスタートをきりました。3つの機能の1つは、急性期一般病棟です。腎不全、心不全、肺炎、大腸炎などの急性期の治療を行います。2つ目は地域包括ケア病棟です。この病棟は、急性期の病状が安定した患者さんが、在宅復帰に向けて、医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。3つ目は療養病棟です。この病棟は、長期にわたり療養を必要とする方々に、医療と介護を提供する病棟です。これらの病棟を患者さんの必要に応じてご利用いただけるように、病床管理を院長、病棟師長、外来師長、看護部長、事務長と毎週1回行っています。今、当院を利用される患者さんは短期間で病棟や病室が変わることを体験された方がいると思います。それぞれの患者さんの病状や状況に合わせて、病棟を移動していただいていることをご理解していただきたいと思います。今後、さらに在宅医療が推進され、「稀に入院、ほぼ在宅」の時代がそこまできています。当院では、患者さんが必要なときに入院の受け入れができる体制を整えています。また、看護部では、救急医療を担う病院の看護師の質向上のため看護師全員に救急トレーニングの院内研修を行っています。患者さんの命を助け、守ることができる看護師の育成を強化しています。そんな取組みの中、昨年9月に当院の看護師がスーパーマーケット内で倒れた方へ適切な救命処置を行い、その方の命を助けることができました。今後もさらに、地域住民の皆様が、いつでも、安心して医療が受けられる病院をめざして、さらなる看護の質向上にむけ邁進していきます。